

読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、こんにちは。もう4月。すっかり春ですね。今年は上手くお花見にいけると良いのですが、どうでしょうね。さて今月もご笑読頂ければ幸いです。

【今月の発見】

錬金術に習って、アイデアを出す！

錬金術とは、古代エジプトを起源に流行した、卑金属（鉄など）を貴金属（主に金）に変えるための研究です。勿論、実現はできなかったのですが、現代の化学のベースとなっているのです。今回は錬金術の考え方を使ってアイデアを出す方法をご紹介します。

そのポイントを一言で言うと、

「無からは有は絶対に生まれない」

です。

一体どういうことなのか？実際の発明を例をとってお話しましょう。

消しゴム付き鉛筆	: 消しゴム + 鉛筆 = <u>消しゴム付き鉛筆</u>
写メール	: 携帯電話 + カメラ + メール = <u>写メール</u>
お茶のペットボトル	: お茶 + ペットボトル = <u>お茶のペットボトル</u>
モバイル	: パソコン + 携帯電話 = <u>モバイル</u>
ラジカセ	: ラジオ + カセットプレイヤー = <u>ラジカセ</u>
ドラえもん	: ネコとロボット = <u>ドラえもん</u>
鬼	: 丑 + 寅 = <u>鬼</u>

いかがでしょう。何かと何かを結び付けることで発明が生まれていることがよく分かりますでしょ？もちろん、ここに挙げたもの以外でも、全てのものは必ず何かと何かを組み合わせることによって、新たなアイデアは誕生しているのです。

つまり、無から有を生み出そうとするのではなく、有と有の組合せを考えることによって、アイデアは出るのです。それは錬金術で、鉄に何かを加えることで金を生み出そうとしたのと全く同じことです。

是非、こういう視点で業績アップのアイデア創出にトライしてみたいはいかがでしょう？